

THE UKI NEWSLETTER

生まれ変わる不知火小・小川中 不知火小学校 待望の新校舎が落成

安全で快適な校舎へ

昭和40年代に建てられた不知火小と小川中の校舎は、老朽化に加え、平成28年熊本地震により被災したため、安心・安全な学校運営が困難な状況となりました。これを契機に、人口減少に対応し、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン・防災機能強化などの導入も含めた建て替え計画を進めてきました。

図 教育総務課 ☎32-1907



学校区の行政区長などが新校舎を見学しました

まもなく新たな校舎で授業開始

不知火小は令和元年度に建設を始め、今年の5月に工事を終えました。夏休み期間中に引っ越し、8月30日から新校舎で新たな学校生活をスタートします。

同時に、児童と共に歴史を刻みながら歩んできた現校舎はその役目を終え、解体工事に入っていきます。

7月8日には、地域の皆さんを招いて新校舎の内覧会を開催。今後は、子どもたちが成長する場として地域の中で息づいていきます。

完成した校舎は地域で息づく

7月6日、新校舎の完成に伴い、教育長室で平岡和徳教育長から豊田拓希校長へ新校舎の鍵の目録が贈呈され、校舎が引き渡されました。

また、校舎建設に携わった(株)太宏設計事務所の福島正継代表と三津野・竹内建設工事共同企業体の藤吉一真代表に感謝状が贈呈されました。

木目は温かみがあっていいですね。学習ルームや少人数教室などいろんな種類の教室があって、いい環境で勉強できるなと思いました。

塩浜区長
徳永栄一さん(73)



亀崎区長
田嶋光晴さん(65)



設計・工事監理した(株)太宏設計事務所 福島代表(左)と工事を行った三津野・竹内建設工事共同企業体 藤吉代表(右)、平岡教育長(中央)

思い出の校舎に感謝を記しました

9月から解体が始まる不知火小の現校舎。最後の思い出を残すために、現校舎への思いを手紙に書いて掲示しようという児童会が企画しました。



企画した児童会の皆さん

安全で安心な教育環境を

新校舎からは目の前に運動場が見渡せ、児童の活動が見られていいですね。現校舎は、雨天時には廊下などが滑りやすかったのですが、新校舎では改善されています。まだ工事は続きますが、安心して安全に楽しく過ごせる学校を目指して、全職員で力を合わせて新しい歴史を築いていきます。



不知火小
豊田拓希校長

小川中の新築工事は秋以降に始まります

小川中は今年の秋以降に部活動の部室棟・新校舎・体育館などの工事を始め、令和5年度中の完成を目指して進めていきます。

その後、現校舎の解体や外構の完成を経て令和6年度に全ての工事が完了する予定です。



完成予定イメージ
↑校舎は白と黒が基調のデザインに ←現在の運動場に新校舎が建設されます

防災消防監を任用しました

地域防災力向上のため、自主防災組織への加入促進や、訓練補助・相談窓口を担い、災害時には災害対策本部運営の補助などの業務に当たります。



坂本勝夫
防災消防監

profile 昭和54年宇城広域消防衛生施設組合に入職後、消防吏員として勤務。宇城広域連合消防本部消防長を2年間務め、本年3月退職。

7月1日から防災消防課に勤務することになりました、坂本と申します。宇城広域連合消防本部勤務の経験を生かして、市民の皆さんが少しでも安心・安全な生活ができるようお手伝いできれば幸いです。

平成28年熊本地震や毎年のように繰り返される豪雨災害は、いつ宇城市を襲ってもおかしくない状況です。自助・共助の礎となる自主防災組織の防災力の強化が喫緊の課題となっている今、その組織率の向上に努めていきますのでよろしくお願いします。

工事期間中は関係者の皆さまには大変ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。